

中 病 第 29 号

令和2年 5月 29日

中津川市長 青山 節児 殿

中津川市民病院

病院長 安藤 秀男



業務状況説明書類の提出について

中津川市病院事業の設置等に関する条例第7条の規定による業務の状況を説明する書類の作成のため、別紙のとおり報告します。

記

1. 令和元年度下半期業務及び経理の状況（中津川市民病院）
2. 令和2年度予算の概況及び経営方針（中津川市民病院）

令和元年度下半期の状況（中津川市民病院）

令和元年度下半期の状況は、延べ入院患者数で 46,245 人（1 日あたり 252.7 人）、病床利用率は 70.2%でした。これを前年度下半期と比較すると、2.5 ポイントの減となりました。延べ外来患者数は、91,990 人（1 日あたり 773.0 人）でした。これを前年度下半期と比較すると、1 日あたりでは、0.6 人の減となりました。

医業収支の状況は、医業収益が 3,681,670 千円（前年度比 104.8%）、医業費用が 4,336,497 千円（前年度比 101.0%）で、医業損失が 654,827 千円発生しました。また、医業外収益が 50,820 千円（前年度比 112.5%）、医業外費用が 297,910 千円（前年度比 111.1%）となり、この結果下半期の経常損失が、901,917 千円発生しました。

なお、上半期の経常収支において、465,719 千円の経常利益が生じていましたが、通算で 436,198 千円の経常損失となり、令和元年度においては、修学資金貸付金の免除分等 23,160 千円を特別損失に計上したことにより 459,358 千円の純損失が見込まれます。

令和元年度下半期の概況（中津川市民病院）

1患者利用状況

単位：人

区 分	下半期	月平均延数	一日平均数
入 院	46,245	7,707.5	252.7
外 来	91,990	15,331.7	773.0
合 計	138,235	23,039.2	1,025.7

2診療収入状況

単位：千円

単位：円

区 分	下半期収入	月平均収入	一人一日あたり 診療収入
入 院	2,359,539	393,256	51,023
外 来	1,045,594	174,266	11,366
合 計	3,405,133	567,522	*****

3経理の状況

収益的収支

単位：千円

区 分	金 額	区 分	金 額
病院事業収益	3,732,490	病院事業費用	4,657,567
医業収益	3,681,670	医業費用	4,336,497
医業外収益	50,820	医業外費用	297,910
		特別損失	23,160

資本的収支

単位：千円

区 分	金 額	区 分	金 額
資本的収入	576,815	資本的支出	338,568
出資金	200,373	建設改良費	146,393
企業債	372,600	企業債償還金	171,475
補助金	1,502	修学資金等貸付金	20,700
貸付金返済金	2,340		

令和2年度中津川市病院事業経営方針（中津川市民病院）

1. 地域医療における役割強化に努めます。

①診療部の強化

- ・ 中長期的観点からの医師招聘
- ・ 医学生等への情報提供の強化
- ・ 安全と経営を意識した部門の強化

②看護部の強化

- ・ 次年度につながる看護部組織の確立
- ・ 中長期的観点からの看護師・助産師・補助者等の適正人数の検討及び確保
- ・ 離職防止策の検討と実施
- ・ 看護学生等への情報提供の強化
- ・ 安全と経営を意識した部門の強化

③薬剤部の強化

- ・ 次年度につながる薬剤部組織の確立
- ・ 中長期的観点からの薬剤師・補助者等の適正人数の検討及び確保
- ・ 薬学部学生等への情報提供の強化
- ・ 安全と経営を意識した部門の強化

④医療技術部の強化

- ・ 中長期的観点からの医療技術部職員の適正人数の検討及び確保
- ・ 学生等への情報提供の強化
- ・ 安全と経営を意識した部門の強化

⑤事業部の強化

- ・ 事業部組織のスムーズな組織運営の確立
- ・ 中長期的観点からの職員等の適正人数の検討及び確保
- ・ 安全と経営を意識した部門の強化

⑥地域医療連携（入院前・入院中・退院後）の強化

- ・ 中長期的観点から MSW・退院支援看護師等の適正人数の検討及び確保
- ・ 近隣医療機関のニーズ調査
- ・ 急性期病棟・地域包括ケア病棟のベッドコントロール
- ・ 在宅療養後方支援病院、生活支援・重症心身障がい児者医療型短期入所の安定的運営
- ・ 訪問看護ステーション開設の準備

2. 患者の権利や満足度向上を進めます。

⑦患者満足度の向上

- ・ 接遇を含め患者さまとの信頼関係の構築
- ・ 患者満足度調査とその分析

⑧施設環境の改善

- ・ 安全性と働きやすさを考慮した施設環境の改善
- ・ 地域の役割を意識した施設整備

⑨職業倫理の確立

- ・ 患者さまの権利の確立と職員教育
- ・ 医療、学会等の状況にあった倫理の場の運営

⑩情報の開示・発信

- ・ 市民への十分な周知（臨床情報、地域医療、病院計画等）
- ・ 職員確保につながる情報発信
- ・ 職員への情報発信（臨床情報、診療報酬制度改正等、職員が知るべき情報）

3. 知識や技術向上のための教育強化に努めます。

⑪職員のスキル向上

- ・ 職員全体の教育、研修の管理
- ・ 人事評価の確実な実施と評価

4. 協働意識の醸成やコミュニケーションを図ります。

⑫医療安全

- ・ 職員教育の徹底と職員の個別研修の導入
- ・ 医療事故の対策と対策
- ・ 医療事故を無くす、医療アクシデントを減らす、インシデントレポートを増やす
- ・ アクシデント防止、対策の検討及び実施した対策の評価
- ・ 次世代担当者の育成

⑬感染対策

- ・ 職員教育の徹底、感染対策意識の向上
- ・ 安全に医療を第一に、経済性も考慮した感染対策の徹底
- ・ アウトブレイク防止
- ・ 実施した感染対策の評価
- ・ 次世代担当者の育成

⑭職員満足度の向上

- ・ 職員満足度調査、ラウンド等の実施とその分析
- ・ ハラスメント等対策
- ・ 満足度調査に基づく離職防止につながる具体的方策の立案

⑮働き方改革の推進

- ・ 医師の時間外を年間 960 時間以内
- ・ 時間外削減案を作成し、届け出を確実に行う
- ・ タスクシェア、タスクシフティングの推進
- ・ 職員全員の有給休暇 5 日以上取得

5. 健全経営を確立します。

⑯短期・中長期計画による病院再整備の検討

- ・ 短期計画（3 年以内）と国、県等からの支援事業
病棟利用計画の立案、院内改修計画等の検討
国策に沿った新事業計画による再整備、国県等からの支援事業の検討
e - ラーニング・TV 会議（病診連携）の導入
- ・ 中長期計画
公立病院改革プランの作成
新病院建設プラン等の検討

⑰診療報酬業務の適正化と新医療制度、診療報酬制度への対応

- ・ 新診療報酬制度への対応
- ・ 診療単価 5%増加
- ・ 加算等の確実な算定と新たな加算等の情報分析

⑱病床の有効利用

- ・急性期病棟病床利用率 85% (237 床稼動)
- ・地域包括ケア病棟病床利用率 95% (79 床稼動)
- 院内転棟率 60%未満とするための運用検討
- 収益性を考慮した転棟タイミングの再検討と実施

⑲外来の効率的運用

- ・外来機能の集約や効率的配置、限られたスペースの有効利用
- ・既存診療科の拡張、新規診療科の環境整備

⑳健康管理センターの強化と収益向上

- ・季節変動を少なくし、業務を均一化
- ・収益前年度比 10%増加

㉑手術室の効率的運用

- ・増加する手術件数に対応し、効率的な手術室の運用
- ・午前開始手術の増加、時間外を少なくするための検討

㉒費用の適正化

- ・外部契約業者との契約の適正化と機能維持
- ・前年度比経費 5%削減
- ・働き方改革を意識した時間外の管理

令和2年度予算及び業務量（中津川市民病院）

1患者利用予定

単位：人

区 分	年度間	月平均延数	一日平均数
入 院	102,565	8,547.1	281.0
外 来	201,933	16,827.8	831.0
合 計	304,498	25,374.9	1,112.0

2診療収入予定

単位：千円

単位：円

区 分	年度間収入	月平均収入	一人一日あたり 診療収入
入 院	5,321,072	443,423	51,880
外 来	2,423,196	201,933	12,000
合 計	7,744,268	645,356	*****

3経理の予定

収益的収支

単位：千円

区 分	金 額	区 分	金 額
病院事業収益	8,900,819	病院事業費用	8,900,819
医業収益	8,280,509	医業費用	8,721,611
医業外収益	620,310	医業外費用	155,408
		予備費	1,000
		特別損失	22,800

資本的収支

単位：千円

区 分	金 額	区 分	金 額
資本的収入	417,969	資本的支出	677,660
出資金	236,569	建設改良費	218,765
企業債	179,600	企業債償還金	414,935
補助金	1,200	修学資金等貸付金	43,960
貸付金返済金	600		